

議員定数を2人削減

議員発議により可決



雲仙市議会は平成28年7月1日、議会活性化特別委員会を設置し、調査項目の中で議員定数の見直しに着手し、合併後議員定数の見直しをした先進地及び県内各市の状況等をもとに審議した結果、委員会では2人削減案を全会一致で決定し、議会活性化特別委員長発議による議員定数条例の一部改正案が本会議に提出され可決しました。

議員定数条例の一部改正により、次回(平成29年)の選挙から新定数の19人が適用されます。

◇雲仙市議会議員定数の経緯

- 合併前(7町) : 町議会議員 96人
- 雲仙市(1期目) : 市議会議員 30人
- 雲仙市(2期目) : 市議会議員 26人
- ※ 1期目・2期目は合併協議会で定数を定め告示
- 雲仙市(3期目) : 市議会議員 21人
- 雲仙市(4期目) : 市議会議員 19人

平成28年 第4回定例会の概要

平成28年第4回定例会が11月24日（木）～12月15日（木）の22日間開催されました。補正予算、条例改正など議案審議及び12名の議員による一般質問がありました。

平成28年度一般会計補正予算(第4号)

○臨時福祉給付金事業

1億8,770万3千円

消費税引上げ（5%から8%）に伴い、低所得者の負担の影響に鑑み、国の施策として暫定的・臨時的に実施されている臨時福祉給付金事業の継続分にあたり、平成29年4月から平成31年9月までの2年半分の増税負担分を対象市民の申請に応じて支援する。

○産地パワーアップ事業

6億398万2千円

総合的な TPP 関連政策大綱に即し、産地一丸となって創意工夫して定める産地パワーアップ計画に基づき、意欲ある農業者等が効率化によるコスト削減や、実需者ニーズに応じた産地体制整備を行う取組み実現のため、ソフト・ハード事業を一体的に支援する。

- ・いちご 集出荷貯蔵施設（増設）
- ・菊、ミニトマト 低コスト耐候性ハウス
- ・トルコギキョウ 低コスト耐候性ハウス・集出荷施設
- ・ブロッコリー 育苗ハウス
- ・レタス 真空予冷庫



○学校施設環境改善交付金事業

1億6,890万3千円

学校施設は児童生徒の学習・生活の場であり、豊かな人間性を育むための教育環境としても重要な意義を持っており、児童生徒の危険回避や教育環境改善のため、外壁及び屋上防水等の改修を行い施設の充実を図る。

- ・多比良小学校校舎外壁等改修工事
- ・千々石中学校校舎外壁等改修工事
- ・愛野中学校グラウンド整備工事



雲仙市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

雲仙市千々石農産物直売所の指定管理業務に係る職員の不適切な事務処理に対して管理監督上の責任から特別職の給料を減額するため、「雲仙市特別職の職員の給与に関する条例」を改正するもの。

○附則に以下の1項を追加する。

第13項 平成29年1月1日から同年1月31日までの間における市長及び副市長の給与月額を、10分の1減額する。ただし、当該期間内に任期が満了し、又は退職する場合は、日割りによって計算される給料額から本来の給料月額の10分の1減額する。

○減額となる額	市長	85,900円
	副市長	69,600円



南高北部環境衛生組合の解散について

○南高北部環境衛生組合の概要

し尿の共同処理を目的に昭和38年6月25日に島原市（旧有明町）と雲仙市（旧国見町、旧瑞穂町、旧吾妻町、旧愛野町）の旧5ヵ町により設置。

○解散の理由

島原市の処理施設「島原市浄化苑」の老朽化、処理能力が飽和状態であることに伴い、新市全体を対象にしたし尿処理施設を更新し、脱退することにより組合構成自治体が雲仙市のみとなり一部事務組合の役割を終えるため、南高北部環境衛生組合を解散しようとするもの。

○組合解散後は、雲仙市が事務を継承し、雲仙市単独での施設運営となる。



討 論



◆雲仙市議会議員定数条例の一部を改正する条例について

可 決

【反対討論】 雲仙市議会定数削減に反対

市議会の定数は、合併直後は30人、4年後に26人、さらに4年後に21人と4年ごとに減らしてきた。今回さらに19人へと急いで削減する理由がわからない。議会活性化のためには「議員定数を増やすべき」という専門家もいる。

憲法第93条には「地方公共団体には、法律の定めるところにより、その議事機関として議会を設置する」とあるが、議員定数をどんどん減らせば「議事機関」としての役割を果たすことができなくなってしまう。せめてあと1期4年間をこれでやってみて判断してはどうか。

いたずらに議員定数の削減を行えば、議会の主要な機能である行政部に対する監視機能が低下する恐れがある。議員報酬を削減してでも定数は維持するべきだ。 【上田 篤 議員】

【賛成討論】 本条例の改正は、雲仙市議会議員定数現在21人を2人削減し、次回選挙から19人とするものであり、主な理由は3点です。

1点目は、雲仙市の急激な人口減少であり、平成27年の国勢調査では44,115人となり、この5年間で3,130人が減少している。

2点目は、雲仙市の厳しい財政状況であり、平成28年度当初予算の自主財源は22.8%、その中で市民税は13.4%約36億円では、人件費を賄うことも厳しい状況である。

3点目は、近隣市の島原市は、雲仙市より人口約1,300人多いのに、すでに議員定数を19人に削減されており、雲仙市民からも定数削減を求める声が上がっている。

以上の理由から定数削減に賛成します。 【浦川 康二 議員】

賛 否 表

※ 本会議において否決及び賛否が分かれた議案について掲載しています。	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	渡辺 勝美	中村 好治	佐藤 義隆	林田 哲幸	坂本 弘樹	酒井 恭二	平野 利和	浦川 康二	大久保 信一	深堀 善彰	上田 篤	町田 康則	松尾 文昭	森山 繁一	前川 治	小畑 吉時	元村 康一	井上 武久	小田 孝明	町田 誠
南高北部環境衛生組合の解散について	認定	19:1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について	認定	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲仙市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	認定	18:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○

○賛成 ●反対

意見書を国へ送付しました



地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に専門化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

請願・陳情の取り扱い方法を一部変更しました

市政に意見や要望がある人は、どなたでも議会に請願や陳情を行うことができます。

請願・陳情は、常時受け付けを行っています。市内の方が請願書・陳情書を提出する場合の取り扱いの流れは下記の通りです。

【請願・陳情の取り扱いの流れ】

- ①雲仙市議会へ請願・陳情の提出
- ↓
- ②請願・陳情を受け付け
- ↓
- ③定例会開会前の議会運営委員会で取り扱いを協議
(所管委員会へ送付、全議員へ請願・陳情の写しを配布など)
- ↓
- ④決定事項を請願者・陳情者へ通知



雲仙市議会

なお、直近の当該定例会の会期、議事日程を決める議会運営委員会で取り扱いを希望される場合の受付期限を下記の通り変更しました。提出された書類に不備がある場合もありますので、下記期限に余裕を持ってご提出をお願いします。

- 従来 議会運営委員会招集日の前日17時まで
- 今後 議会運営委員会招集日の二日前の正午まで
(※当該日が土、日曜及び休日のときは、その前日の正午まで)

平成28年第4回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第57号	長崎県市町村総合事務組合理約の変更に関する協議について	原案可決
議案 第58号	南高北部環境衛生組合の規約の変更に関する協議について	原案可決
議案 第59号	南高北部環境衛生組合の解散について	原案可決
議案 第60号	南高北部環境衛生組合の解散に伴う財産処分について	原案可決
議案 第61号	雲仙市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第62号	雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第63号	雲仙市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第64号	平成28年度雲仙市一般会計補正予算（第4号）案について	原案可決
議案 第65号	平成28年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第66号	平成28年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第67号	平成28年度雲仙市温泉浴場事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第68号	平成28年度雲仙市水道事業会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第69号	第2次雲仙市総合計画基本構想の策定について	原案可決
議案 第70号	字の区域の変更について	原案可決
発議 第6号	雲仙市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
発議 第7号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について	原案可決
発議 第8号	雲仙市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	原案可決

付託案件	審議結果
雲仙市税条例の一部を改正する条例 ほか1件	原案可決
平成28年度雲仙市一般会計補正予算（第4号）案	原案可決
第2次雲仙市総合計画基本構想の策定 ほか1件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決5件と決定しました。
 主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。



審査状況

雲仙市税条例の一部を改正する条例

質疑 今回の条例改正に至った背景の説明において、民間レベルの取り決めに国が整備したためとあるが、民間レベルでの取り決めに国が入れるのか。また、民間レベルとは民間主導で行った取り決めということなのか。

答弁 日本と台湾において政府間の正式な国交がないため、民間団体である日本の公益財団法人交流協会と台湾の亜東関係協会の間で交わされた取り決めに有効にするために日本国内の法律が整備された。

雲仙市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

質疑 給与減額の対象を平成28年12月分ではなく、任期が切れる平成29年1月分とした理由は何か。

答弁 事務方の判断としては、市長の任期が1月12日までであることから、平成29年1月1日を基準日とし、1月12日までの日割分の給与減額において処分ができるかと判断した。

第2次雲仙市総合計画基本構想の策定

意見 計画の中で使用される横文字や略称については、市民が読んで理解できるように、解りやすい表記に変更するか注釈を付けていただきたい。

総務

第2次雲仙市総合計画基本構想が決まりました！

<将来像>

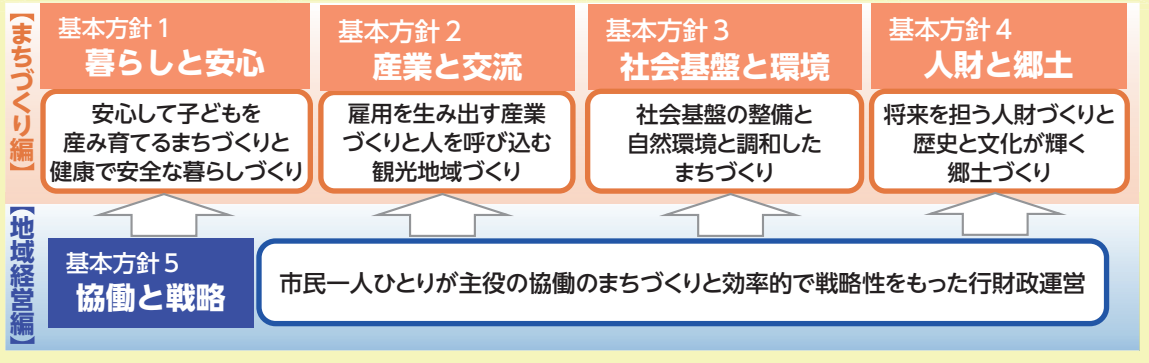
“つながり”で創る賑わいと豊かさを実感できるまち

「自然」「人」「地域や近隣」との
“つながり”

市民の心と心をつなぐ
まちづくりの合言葉

ほっと
するby
雲仙

基本方針



常任委員会報告

付託案件	審議結果
南高北部環境衛生組合の解散 ほか2件	原案可決
国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
平成28年度一般会計補正予算（第4号）案 ほか1件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決6件と決定しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

現地調査を実施

可燃ごみの処理を行っている県央県南広域環境組合の現地調査を実施し、施設の運転状況や余熱利用状況等を視察した。

南高北部環境衛生組合の解散

質疑 組合職員の身分は全員雲仙市に引き継ぐようになっていくが、有明町分はどれくらい処理しているのか。

答弁 まず収集業務に係る有明町の分が収集業務全体の8%程度である。これに民間業者が収集した分を合わせると34%程度が有明町分の量となる。

質疑 小浜町にあるし尿処理施設は築何年になるのか。また、処理費用が国見町にある北部環境衛生組合の施設よりも割高であるというが、どれ位かかっているのか。

答弁 小浜にある施設は今年で築24年になる。近々、大規模改修を実施しなければならぬ時期に来ている。また、この2つの施設では処理方式が異なり、小浜の施設のほうは薬品代や施設費等が高くなり、処理

方式が割高となっている。平成27年度の決算では、1tあたりの処理単価は、小浜クリーンセンターが5470円、北部環境衛生組合が3618円となっている。

質疑 国見にある施設の処理能力はどれ位あるのか。また、小浜の施設では現在どれ位の処理を行っているのか。

答弁 国見にある施設の処理能力は100tで、現在89tの処理を行っている。今回、有明町分の30tが減少するため59tの処理となり、41t程度の余裕が出来ることになる。現在、小浜にある施設の1日の処理量が45tなので、1箇所処理する場合は104tとなるが、100tの能力がある機械で104tの処理を行うことは可能である。

質疑 小浜にある施設では処理費用が割高になっており、小浜で処理している量を国見の施設で処理する能力があるのであれば、早く1箇所を集めて効率を高めるべきである。そうすることによって、職員の受入れにつ

いても解消するのではないか。
答弁 小浜にある施設の大規模改修をしなくてもいいように、早急に国見の施設への統合を行う。

平成28年度一般会計補正予算（第4号）案

質疑 学校施設環境改善交付金事業について、小中学校の耐震化工事は終わっているのか。

答弁 柱や梁などの構造物は既に完了しているが、壁、天井、照明器具などの非構造体については、今後、耐震化を実施しなければならぬ。

質疑 外壁の耐震化も重要ではあるが、体育館の照明器具が落ちると避難場所として使用出来なくなるのではないか。

答弁 体育館の照明器具については、外壁改修時に調査し、耐震補強が必要な場所については、同時に実施する。

文教厚生



現地調査（県央県南広域環境組合）

付託案件	審議結果
平成28年度 一般会計補正予算（第4号）案	原案可決
平成28年度 下水道事業特別会計補正予算（第2号）案 ほか1件	原案可決
平成28年度 水道事業特別会計補正予算（第2号）案	原案可決
字の区域の変更	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決5件と決定しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

平成28年度一般会計補正予算（第4号）案

質疑 水産物供給基盤機能保全事業について、不測の日数を要したために繰り越すとの説明であったが、具体的にどのような理由か。

答弁 事業の採択要件を満たすように漁港合併を昨年度から進めているが、国との調整事務が難航しており、今の状態では委託業務期間が不足するために繰り越しをお願いするものである。

質疑 新たな一貫生産体系育成事業について、3経営体分の補正額となっているが、他にも希望者はいたのか。

答弁 今回希望のあった3経営体のみが補助要件を満たすものであり、他の希望者はなかった。

質疑 多比良港航送船車両通過料徴収事務委託業務について、棧橋を通るのに料金を徴収するということがあるか。

答弁 5m未満の車両が1台27円、5m以上の車両が32円、その他バイク・自転車等が16円の通過料を徴収している。

産業建設

質疑 同じく、多比良港航送船車両通過料徴収事務委託業務について、棧橋通過料徴収の事務の流れはどうなるのか。また、債務負担行為まで行う必要があるのか。

答弁 市が有明フェリーに棧橋通過料徴収を委託し、徴収した通過料を市が県に一旦全額納入する。その後、次年度に徴収額の2分の1が県から市へ交付金として交付される。契約までの事務手続きを3月中に行うため、債務負担行為が必要となる。

平成28年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）案

質疑 下水道検針委託業務について、下水道メーターはどのような場合に設置しているのか。

答弁 自家用水の計量の際や、家畜用水道など下水道に流入しない水量を差し引く場合に除外メーターとして設置している。

平成28年度国民宿舎事業特別会計補正予算（第2号）案

意見 市役所関係者による忘年会の予約も入っているようだが、更なる利用促進の営業をお願いする。

平成28年度水道事業特別会計補正予算（第2号）案

質疑 検針委託業務の1個あたりの検針料金はいくらかか。

答弁 1個あたり79円である。



審査状況



工業団地（吾妻町）



JAいちご集荷場（国見町）

今回の議案について2箇所、議案外1箇所の現地調査を実施した。

現地調査を実施

市政を問う 12名の議員が一般質問



浦川 康二…P11	坂本 弘樹…P13	深堀 善彰…P15
町田 康則…P12	佐藤 義隆…P14	林田 哲幸…P16
平野 利和…P12	渡辺 勝美…P14	元村 康一…P16
中村 好治…P13	上田 篤…P15	小田 孝明…P17

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

障がい者の交通施設は

松本部長 市道に関しては誘導ブロックの整備率は1%が今後の整備促進は。

浦川議員 視覚障がい者に対する交通安全施設の整備状況は極めて厳しい状況であるが今後の整備促進は。

松本建設部長 音響装置付信号機は愛野町・千々石町に各1カ所、小浜町に6カ所。誘導ブロックは、瑞穂町978m、吾妻町300m、愛野町2550m、千々石町1513m、小浜町4588m設置されている。

浦川議員 雲仙市内の音響装置付信号機及び視覚障がい者用誘導ブロックの設置状況は。

視覚障がい者用交通安全施設の整備状況は



うらかわ やすじ 浦川 康二 議員



愛野町交差点

浦川議員 多くの障がい者の声を汲み上げていただき、障がい者の地域で安全安心の生活に対し、必要な支援を提案する。

松田健康福祉部長 国道57号の福祉事務所前及び251号愛野記念病院前の誘導ブロックの設置について、視覚障がい者団体に同行して、国土交通省小浜維持出張所、島原振興局へ要望を行っている。また、福祉事務所前の音響付信号機の改良について、雲仙警察署に要望した。

浦川議員 国及び関係機関への要望状況は。

も整備されていない。今後歩道整備を行う場合は、隣接する施設等の状況を加味し、必要に応じて誘導ブロックの整備を行っていく。

農業・観光振興対策は



まちだ やすのり
町田 康則 議員

農業振興―農援隊への支援強化を

町田議員 農業従事者の

46%が70歳以上で30代以下は5%の深刻な高齢化の現状に、農援隊は当を得た対策である。昨年農援隊が活躍したからこそ、JA島原雲仙は販売額300億円を超えることが出来たと聞く。現在農援隊は35名いるが旧町ごとで配置の人員が違う。農協も一つになり、島原半島全体で動かすような形にすれば暇な時期もなく働けるのではないか。

谷川農林水産課長 島原地

域労力支援協議会で協議した。問題点があると思っている。

町田議員 今、増加している

アナグマ捕獲支援制度を。

秋山産業部長 捕獲支援策について研究したい。

雲仙・小浜温泉の観光振興策

町田議員 熊本地震対策として九州ふっこう割が12月

で終了する。今後の観光振興策は。

伊東観光物産課長 外国人

観光客をいかに獲得していくかに力を入れるべきだと思う。

町田議員 私も訪日外国人

対策だと思う。4年前外国人旅行者は836万人だったが、今年は2千万人を11月に突破した。外国人対応の注意点などのチラシを製作しては。

伊東課長 調査してみたい。

定住目的の奨学金返済支援

町田議員 人口減対策として

市内に住めば奨学金の返済支援を行う制度を検討すべきでは。

山野教育長 十分研究したい。

人口減対策奨学金返済



ひらの としかず
平野 利和 議員

奨学金返済制度は

平野議員 高校や大学の卒業と同時に奨学金の返済が開始される。都会で働いて雲仙

市に帰って子育て、あるいは結婚を考えているが、賃金が都会に比べて低いため、諦めている若者の背中を押すことになる奨学金返済制度を提案する。

金澤市長 奨学金返済の一部を助成する制度は、各自治

体の状況を見極めつつ、全庁的に議論を深める。

大山総務部長 人口減少対策

の一つの手段として奨学金制度の検討は、非常に重要な課題だと考え議論を深めていく。

空き家対策は

平野議員 台風の時期に

「近くの空き家が崩れないか

心配だ。瓦が飛んで来て危険だ」との相談を受け、市役所職員と現地調査を何軒か行った。現状での対策を尋ねる。

山本市民生活部長 空き家は個人財産であるため、所有者本人が対応することが第一。所有者又は、相続人へ適切な管理を働きかけることが重要である。

平野議員 空家等対策推進

に関する特別措置法、法律第127号がある。代執行ができるのではないのか？

山本部長 代執行は、本人

にかわり市が解体を行うもので、費用は本人に請求をすることになる。

環境対策は

平野議員 環境問題を考えるに、森林整備が重要と考えるが対策は。

秋山産業部長 雲仙市森林

整備計画に沿って間伐をして、木を植えることが大事だ。

二酸化炭素吸収が高い幼木の苗の購入の補助も準備したい。



定住促進の将来計画は

重点プロジェクトについてはそれぞれの関連する部局を横断的に組織するプロジェクトチームを結成し、実施可能な事業から順次展開できるように取り組む。

金澤市長 第2次総合計画に定めた各分野の施策の目標達成に向け、効率的、効果的な事業展開が必要であることからPDCAサイクルを確立して目に見える事業を展開していく。

中村議員 市では今年度、第2次総合計画の策定に取り組みられているが、どのような効果的な手法で5年間の事業計画と重点プロジェクトの取り組みを実行し、進めるのか。

定住促進の取り組み



なかむら こうじ
中村 好治 議員

中村議員 人口減少問題の定住促進計画には雇用と住宅が必要であるが雇用については。

広瀬環境水道部長 再生可能資源の確保が雇用につながると思う。

中村議員 空き家に対する住宅対策については。

大山総務部長 空き家に対しては市独自の政策として家財道具の片づけ補助金、空き家調査の補助金、中古住宅購入補助金を行っている。

中村議員 市営住宅の今後の政策は。

松本建設部長 定住促進のための市営住宅建設は考えていない。現存の住宅を長寿命計画に沿って実施していく。造成については考えていない。



八ヶ島団地 (千々石町)

小中学生の学力向上を

山野教育長 学力向上の要因として一つ目、子どもの中に寄り添う教育が推進され、心の安定が学習規律や姿勢につながったこと。二つ目、これまでの学力調査結果につ

いて、学力向上の結果と縮まり、学力向上が結果となって表れた。学力は子どもたちの将来を大きく広げる大切な要素であり、今後子どもたち一人一人に確かな学力の定着を目指した施策を継続する。

坂本議員 市内小中学校の全国学力調査結果の評価と、学力向上の捉え方を問う。

継続的な学力向上を



さかもと ひろき
坂本 弘樹 議員

て分析・評価を行い、課題解決に向け対策を講じたこと。三つ目、研究発表会や研修会を通して学力向上に向けた対策が、市内全校で共有され、教職員の意識改革につながり、より効果的な指導方法や取り組みが各学校で共有できたこと。四つ目、学力向上に重点を置いた各学校の取り組みが保護者に少しずつ浸透し、子どもたちの学習に対する関心が高まり、家庭での取り組みが充実してきたこと。今後、学力の定着に向けた取り組みが一層推進されるよう各種研修会や研究発表会などにおける指導助言に努める。



神代小学校 (国見町)

元江橋の改修の考えは

市道千々石松原線元江橋の改修の考えは



さとう よしたか
佐藤 義隆 議員

佐藤議員 元江橋は昭和49年に完成した橋で、42年が経過し劣化が著しいが、改修の考えは。

金澤市長 市道千々石松原線は県道北野千々石線と南船津名及び千々石漁港を連絡する路線で生活道路、産業道路として重要な役割を果たしている市道で、この路線に架設された元江橋は、設置から42年が経過しており、海岸に直接面している為に劣化が進んでいるので、平成33年度までに国の補助を受けた防災安全社会資本整備交付金事業により補修を行いたいと考えている。

雲仙市ふるさと大使は

佐藤議員 ふるさと大使の人数、選考方法、活動内容は。

秋山産業部長 ふるさと大使は、平成20年に雲仙市のイメージの高揚と観光振興のために、各々の地域や活動場所において、多くの人に雲仙市を自慢し、PRしてもらう事を目的に創設されており、会社役員や大相撲の立行司等で活躍されている14名の方に就任をお願いしている。

地域別では、関東に10名、関西に2名、福岡に2名の内訳となっており、選考については、関東島原半島会や関西大阪長崎県人会の方々の紹介や市民からの推薦を頂いた方から、ふるさと大使に就任をお願いしている。

他の質問

- ・市道千々石耕地線改良は
- ・市公用車の名称表示は

環境対策と農業振興策

環境対策は



わたなべ かつみ
渡辺 勝美 議員

渡辺議員

ごみ処理施設の損害賠償請求訴訟の和解勧告を双方が受け入れとあるが、総合計31億円のその内容と瑕疵担保期間内の精算金は。また、既存施設の改修継続か新しく建設か。

金澤市長

裁判所の判決を踏襲したもので、平成17年度から平成22年度の解決金約17億5千万円と平成23年度から31年度の9年間に乗じて、13億5千万円程度と推計したものだ。組合としての方針は決定していないが、処理方式を比較検討し、安価で安定した物を採択する必要がある。

渡辺議員 ごみの量の未来予想図は。

広瀬環境水道部長

微増である。

渡辺議員

日本では、食品ロスが多く、一人当たり毎日お茶碗1杯のご飯の量を捨てているそう。特に宴会については、30・10運動を実施し、①食べられる量を注文する。②乾杯後30分間席で料理を楽しむ。③宴会終了10分前には席に戻り料理を楽しむ。「もったいない」と思う精神で、長崎県で一番最初に、取り組んで貰いたい。

農業振興策は

渡辺議員 雲仙ブランド品の認定数は、増えているか。

秋山産業部長

減っている。

他の質問

- ・農業雇用対策における市の対策は
- ①シルバー人材からの派遣は
- ②農援隊の内容は
- ③外国人研修者の雇用推進は

核兵器のない世界へ



うえだ あつし
上田 篤 議員

国連での「核兵器禁止条約交渉に期待」

上田議員 10月28日、国連

総会第1委員会にて「核兵器禁止条約について交渉する国連の会議を来年に招集する」とした決議案に日本が反対したことをどう考えるか。(賛成123、反対38、棄権16)

金澤市長 決議案が賛成多数で採択されたことは、核兵器のない世界へ向けて新たな扉を開く歴史的な第一歩になり得るものだ。唯一の被爆国である日本政府が決議案に反対したことは、被爆県の自治体の首長として、非常に残念だ。今後とも核兵器の廃絶に

向け、努力していかなくてはならない。

上田議員 市長の答弁を聞き、非常に心強く思った。世界には化学兵器禁止条約、生物兵器禁止条約がすでにあり、最悪の兵器である核兵器禁止条約がなかったことがおかしい。人類の英知に大いに期待する。



(本庁前設置)

就学援助改善の動きとは

上田議員 就学援助制度を改善する動きがあるのか。

山本教育次長 新聞報道によると、文科省が生活保護世帯の新入生に支給している学用品費を倍額に引き上げるような協議を始めたようだが、現時点では判断できない。

災害に強いまちづくり



ふかほり よしあき
深堀 善彰 議員

防災行政、公助・共助の役割は

深堀議員 災害時に道路網が寸断された場合などに備え、本市と有明フェリーで結ばれる熊本県長洲町及び、有明フェリーを運営する有明海自動車航送船組合との応援協定を早急に締結すべきではないか。

金澤市長 災害時の道路網の寸断で、船舶による避難者や物資の航路輸送での体制を整えることが必要である。早急に相互応援協定締結を進める。

深堀議員 本市の自主防災組織は、管内242の自治会が基本だが、高齢化や若者の流出などにより、自治会単位での様々な活動が低下してい

る地域があるが、どう考えているのか。

山本市民生活部長 高齢化が進む地域は、地域性や立地条件等も考慮しながら、隣接自治会との合同で出前講座等の実施も考える。

深堀議員 災害発生時の避難弱者、特に防災無線等の音が聞こえない聴覚障がい者への対応は。

山本部長 手話サークル団体など、各種関係団体との話し合いの中で、意向を確認し対応する。

他の質問
・地域づくり活動団体等の育成や支援は
・教育環境の充実は



消防行政の一元化を

消防行政の在り方は



はやしだ 林田 哲幸 議員

林田議員 島原地域広域市町村圏組合と県央地域広域市町村圏組合、二つの一部事務組合に属する雲仙市の消防行政。この現状をどう考えているか。

金澤市長 合併以来の懸案事項だが、両組合が一本化となることが望ましいと考える。
林田議員 愛野町のグリーンロード上で修学旅行の小学生を乗せたバス2台と乗用車が絡む追突事故が起きた際、何台もの救急車が出動したそうだが、その時の状況は。
山本市民生活部長 県央広域市町村圏組合管内で連携を図り、小浜消防署、愛野分署、西諫早分署、飯盛分署、多良

見分署からそれぞれ1台が出動したが、それでも不足したため、非番職員を呼び出し、小浜消防署の予備の救急車を出動させ対応した。ドクターヘリも出動したが、搬送は医師の判断で行っていない。

林田議員 国見の北分署からの出動はなかったのか。
山本部長 北分署からの出動はあっていない。相互の応援について要請、協議をした経緯もあるが、他の広域圏組合への出動は本来管轄する区域を空白状態にすることから、できないという回答だった。

林田議員 市内にある組合の境界を解消することで消防行政の更なる効率化が図れると思うが、これまでに関係市と協議をしたことはあるのか。
山本部長 消防行政の一元化に向けた関係市などと協議されてきたという事実はない。
林田議員 誰かがやろうとしなければいつまでたっても変わらない。1日も早く改善してもらいたい。

職員の勤務体制

職員の勤務状況は



もとむら 元村 康一 議員

元村議員 市は、財政・人口減少・高齢化対策・地域経済の活性化等々、そのどれをとっても地域住民に直接影響し、市の真価が問われる課題を抱えており、その施策を推進する原動力は職員であるが、現在の勤務状況は、課によって長時間労働が片寄っており、職員の健康管理に問題がある。各課の業務量を的確に把握し、適正な人員配置をすべきだと思うが。

金澤市長 業務量は国の政策等を含め各種の事情により、多種多様なものに拡大傾向にあり、事務事業の見直しや集約化、機構改革を行い、

業務量の平準化や軽減を図ってきたが根本的な解決に至っていない。業務量の把握を的確に行う必要がある。
大山総務部長 長時間労働は心身の故障につながり、事務能力や勤労意欲の低下につながる。この問題解決に最大限の努力を尽くす。

小浜リフレッシュセンターの利用料金は

元村議員 公共料金は公平平等であるべきだが、健康づくりのためにある市内の他の類似施設と比較し2倍の料金になっている。また、市民と市外利用者の料金設定がなされていない。公平で低額な料金として多くの市民が利用しやすい施設とするべきだ。
秋山産業部長 公平性が損なわれていると考えている。少し時間をいただき、引き下げの方向で平成29年度中に見直しを行いたい。

木指小から小浜小へ



木指小学校 (小浜町)

小田議員

保護者の皆さん

保護者の皆さんが統合の意向があるとの報告を受け、7月に教育委員会と保護者の話し合いを持って、統合の意思を確認した。

山野教育長

6月校長より

学校の保護者から小浜小学校へ統合の要望があったと聞くがその対応は。

小田議員

小浜町の木指小

平成30年4月、木指小学校と小浜小学校が統合へ



おだ こうめい 議員
小田 孝明

が安心して統合できるのか。
山本教育次長 平成30年4月統合に向けて木指小学校統合検討委員会や保護者会等と協議を重ねながらスムーズに統合できるように進めていく。

伊東観光物産課長

県より

借りて緑化機構に又貸している。緑化機構の代表が雲仙ゴルフ場の役員でもあり、経営を検証していく。

小田議員

(株) 雲仙ゴルフ場と雲仙ゴルフ緑化機構(株) は同じ住所だが関係は。

取得の賠償については、第三者に名義を変えて譲渡したと回答があった。その処理が適当であったか検証する。

秋山産業部長

違法な株式会社

主総会が開催されたが十分な検証ができていない。

小田議員

9月議会後の(株) 雲仙ゴルフ場の経営状況は。

金澤市長

11月29日定例株

(株) 雲仙ゴルフ場は個人商店ではない

が安心して統合できるのか。
山本教育次長 平成30年4月統合に向けて木指小学校統合検討委員会や保護者会等と協議を重ねながらスムーズに統合できるように進めていく。

雲仙市議会



情報

平成29年度より



県内市議会初の 政務活動費の後払い制 を実施します

平成28年12月15日の全員協議会において、平成29年4月より、雲仙市議会政務活動費の交付方法を従来の「前払い制」から「後払い制」に変更することに決定しました。

今後、平成29年第1回定例会で条例改正を行い、改正されれば、県内市議会初の実施となる予定です。

政務活動費の用途について、全国で不祥事や問題が多発している昨今、雲仙市議会では、市民皆様のご理解が得られるように、制度の見直しを図ってまいります。

※雲仙市議会では、一人当たり年額、上限18万円が交付されます。

議会のうごき



10月22日 (土)

長崎県立国見高等学校創立50周年記念式典

式典が開催され、大久保議長、小田議員、小畑議員、平野議員、坂本議員、渡辺議員が出席しました。創立50周年を迎え、生徒の制服も一新されており、輝かしい伝統を引き継ぎながら、新たな歴史作りへ踏み出されることを期待します。

11月15日 (火)

福岡県みやま市議会行政調査受入

「議会報編集特別委員会」の皆様が「議会報」について行政調査のために来庁され、本市の議会広報編集特別委員会の6名の委員が対応しました。議会だよりの編集作業において、日頃から感じている悩み等について、相互に意見交換がなされ、大変有意義な時間となりました。



11月17日 (木)

平成28年度2次補正予算の陳情(国土交通省)

国の補正予算において、雲仙市が関係する島原道路の森山拡幅及び吾妻・愛野バイパス、国道57号の雲仙市小浜町富津視距改良及び小浜町北本町の西登山口歩道整備に対し、国の厳しい財政状況の中にも、特別のご配慮をいただくよう陳情しました。



12月4日 (日)

第10回産業まつり～特産まんぞく市～

会場には80を超えるブースが並び、肉じゃがやさんまの塩焼きなどの振る舞いもあり、大勢の買い物客で賑わっていました。

節目の10回目を迎えるにあたり、イベントを支えてこられた関係各位のご尽力に敬意を表します。





エレベーター・スロープの設置により 車椅子での傍聴が可能に！

本庁別館庁舎にエレベーターが設置され、3階議場傍聴席入口にスロープが設置されたことにより、車椅子での傍聴が可能となりました！

ゴール!!

スタート!

市役所正面玄関



車椅子がゆったりと入るスペースができました



正面玄関右手(別館)にスロープができました
(障がい者等用の駐車スペースもあります)

楽に登ることが
できます

傍聴席入口までのスロープ



別館1階にできたエレベーター
(3階ボタンを押してください)

署名後、
投函して
ください



傍聴席入口前
の受付簿



議会を傍聴してみませんか？

平成29年第1回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は
2月23日（木）～3月21日（火）です

- 一般質問 2月27日（月）～3月2日（木）
- 議案質疑 3月6日（月）
- 委員会
文教厚生常任委員会 3月7日（火）・8日（水）
産業建設常任委員会 3月8日（水）・9日（木）
総務常任委員会 3月9日（木）・10日（金）

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。



編 集 後 記

新年明けましておめでとうございます。今年は、酉（とり）年であります。酉のつく年は、商売繁盛に繋がると考えられています。また、酉は「取り込む」に繋がるといわれ、そこから、運氣もお客も取り込めると言われているそうです。

今年こそは、雲仙市に多くの観光客を「取り込み」、我が雲仙市が繁盛しますように、ご祈念申し上げます。
(渡辺 勝美)



議会広報編集特別委員会

委員長 佐藤義隆
副委員長 上田 篤
委員 坂本弘樹、林田哲幸
中村好治、渡辺勝美

議会だより 創刊50号

平成18年1月15日に創刊した「議会だより」は11年目を迎えて50号を数えることになりました。

これからも、市民に親しみをもたれるような「議会だより」編集を心掛けて取組んでまいります。



議会広報編集
特別委員会委員長
佐藤 義隆



お知らせ

「議会だより」へのご意見ご感想がありましたら、議会広報編集特別委員会（議会事務局）までお寄せください。



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。